

C) 普及啓発等を通じて新たな拡散を防止する種類

アメリカハマグルマ

キク科 *Sphagneticola trilobata*

原産地：熱帯アメリカ

生態系被害防止外来種リスト：緊急対策外来種

特徴

グラウンドカバーとして持ち込まれたキク科の多年生草本。黄色の花を周年開花させる。

- 葉** : 茎の同じ箇所から 2 枚の葉が対になって生える(対生)。成熟した株の葉は中央部に切れ込みが入り、鋸型になる。
- 花** : ほぼ周年、黄色の花を咲かせる。多くのキク科植物で見られるように、小さな花が集まる頭状花序で直径は 4cm ほど。
- 繁殖** : 地面を這うように伸びる茎によって水平方向にどんどん広がってしまう。また千切れた茎の断片からも生育するため、草刈り作業等でも拡散してしまう可能性がある。



影響 : 自身の茎を複雑に絡み合わせながら密な群落を作るため、在来種と競合し、駆逐してしまうことが懸念される。

侵入状況 : かつて島の至る所でグラウンドカバーとして導入されたため、島中で見ることが出来る。またこれらから拡散したと考えられる群落も低地部を中心に、一部山域でも見られる。

対策状況 : 一部の生育地で駆除実績があるが、未だ体系的な防除作業は実施できていない。

防除のコツ : ほぼ周年開花が見られることから、駆除の時期はあまり気にしなくてよい。千切れた茎の断片からも生育するため、取り残しがないように丁寧に抜き取りを行う必要がある。

リンク : 鹿児島県外来種駆除対応マニュアル アメリカハマグルマ
https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/gairai/documents/72338_20231017091951-1.pdf